

国立青少年教育施設の振興方策に関する検討会(第3回)

本校並びに千葉市における 体験学習への取り組みと課題

～施設ユーザーからの視点について～

千葉市立白井中学校
校長 笹本 匡澄

千葉市と本校の実態

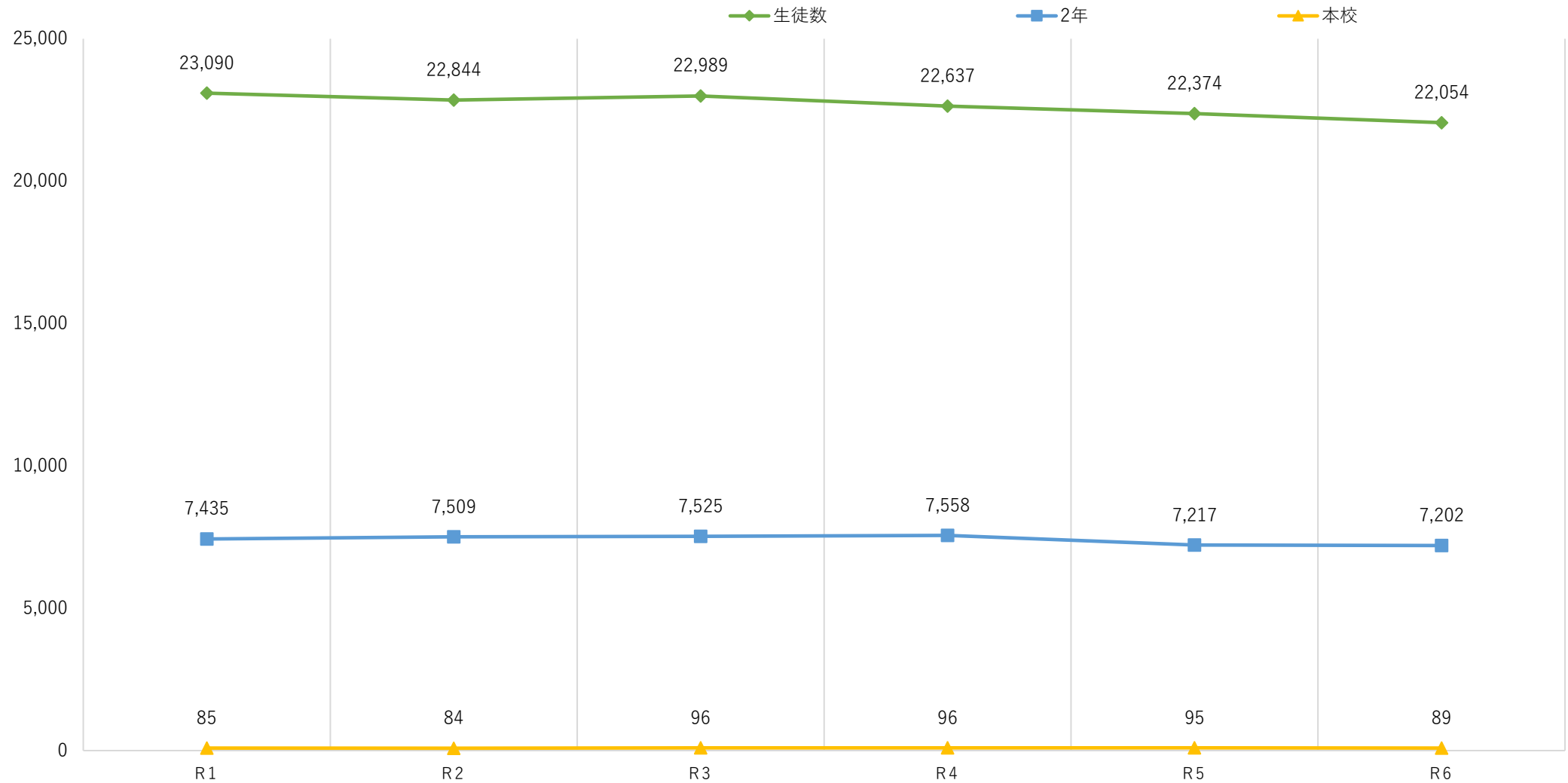
①千葉市の学校数・生徒数

- ・政令市 6つの行政区【中央・美浜・花見川・稲毛・若葉・緑】
- ・学校数 166校 【小107 中53 中等1 特支3 高2】
- ・令和6年度中・中等教育学校生徒数 22,054名

②白井中学校の実態

- ・昭和22年創立 → 昭和38年市町村合併で千葉市へ
- ・国道126号の約11kmを学区とし、学区の広さは市内最大級
- ・生徒数は昭和60年度の525名が最大で、現在89名の小規模校

千葉市（中・中等教育学校）生徒数の推移



千葉市の体験学習について

○体験学習推進会議【年2回】 宿泊を伴った体験活動の充実

- ・小学校5年 [移動教室] 2泊3日 千葉市少年自然の家(千葉県長生郡)
- ・ // 6年 [農山村留学] 2泊3日 千葉市少年自然の家または県内施設

※令和7年度より[修学旅行]へ移行 → 県外の施設へ【日光・箱根・山梨】

- ・中・中等教育学校2年 [自然教室] 2泊3日 国立赤城青少年交流の家(R6.10/1～R7.1/24)20校
国立那須甲子青少年自然の家(R7.1/7～3/5)34校

- ・中学校3年 [修学旅行] 2泊3日 各学校単位で方面を決定

令和6年度【東北4／信州25／北陸6／京都・奈良16／兵庫1／広島2】

- ・その他 [げんきキャンプ] 1泊2日or2泊3日 小・中特別支援学級 特別支援学校
[ジョイントキャンプ] 2泊3日 千葉市教育センター相談事業にかかわる児童生徒

自然教室事業について【千葉市施設】

中学2年生を対象に自然教室を実施するために施設を建設 → 譲渡

【経緯】

昭和48年7月	群馬県利根郡新治村(当時)に林間キャンプ場オープン
50年11月	青少年自然の家オープン
53年11月	市民ロッジオープン
平成元年	林間キャンプ場のバンガローをログハウスへ
23年	今後の施設のあり方について検討開始
25年8月	みなかみ町と譲渡協議開始
31年4月	みなかみ町へ譲渡(土地・建物一体)

【譲渡理由】

- ・施設の老朽化と利用者の低迷により、千葉市においての活用が見込まれない
- ・少子化による生徒数の減少と維持管理費の増大

施設の名称	市民ロッジ	青少年自然の家	林間キャンプ場
開 設	昭和53年11月3日	昭和50年11月1日	昭和48年7月17日
構 造	鉄筋コンクリート造 4階建	鉄筋コンクリート造 2階建一部平屋建	ログハウス50棟
床面積	2,833.33㎡	4,407.27㎡	管理棟234.24㎡
収容人数	72人	220人	ログハウス300人 テント60人
施設概要	○宿泊棟 和室14室 ・ 8畳 2室 ・10畳 10室 ・12畳 2室 洋室2室 ○管理棟 ・ロビー ・フロントホール ・大広間 ・食堂 ・浴室 他	○宿泊棟 ・10人用20室 ・リーダー室2室(10人) ・研修室2室(50人) ○管理棟 ・ロビー ・フロントホール ・談話室 ・体育館 ・食堂 ・浴室 他	○ログハウス ・50棟(6人用) ○テント ・10張(6人用) ○トイレ 5棟 ○炊事場5棟 ※冬季期間は閉鎖
※レクリエーション施設 ・スキー場(40,863㎡) ・テニスコート(1面) ・バードゴルフ場(1コース) ・パークゴルフ(1コース) ・フリスビーゴルフ場(1コース) ・ゲートボール場(1面)			

自然教室事業について

【国立施設利用】

★令和元年度より『赤城』と『那須甲子』の利用を開始

令和元年度・4年度実施 生徒の意識の変容調査について

- ①調査の目的 体験学習を充実させていく上で、生徒の成長にどのような効果をもたらすかといった分析、指導方法や内容は適切であったかという評価を行う。
- ②調査対象者 ・自然教室に参加した生徒全員 ・学級担任 学年主任
- ③調査期間 ・生徒に対する調査 事前：事業開始前1週間以内
事後：事業終了後1週間以内
・学級担任及び学年主任 事業終了後1週間以内
- ④生徒調査票 質問項目に対して5段階評定で回答する質問紙尺度(5件法)による分析
質問項目については、文部科学省の効果測定についての評価項目を参考

生徒の意識の変容【赤城利用／R元・R4】

R元:30校 4,574名(集計4,420名)

R4:29校 4,536名(集計4,358名)

No.	項目	R元事前	R元事後	比較		R4事前	R4事後	比較	
1	進んであいさつをすることができる	4.01	4.16	↑	0.15	3.96	4.32	↑	0.36
3	自分の考えや思いを相手に伝えることができる	3.55	3.89	↑	0.34	3.60	3.98	↑	0.37
5	新しいことに積極的に取り組んだり、失敗を恐れず挑戦したりすることができる	3.34	3.76	↑	0.42	3.38	3.74	↑	0.36
9	働くことの喜びを知り、楽しさを感じている	3.31	3.70	↑	0.39	3.32	3.67	↑	0.35
10	人が嫌がる仕事などをすることができる	3.24	3.66	↑	0.42	3.22	3.52	↑	0.30
11	やる気になれば、できないことはないと思う	3.52	3.72	↑	0.20	3.57	3.81	↑	0.23
16	友達の良さを発見することで人間関係が広められる	3.87	3.98	↑	0.11	3.92	4.10	↑	0.19
18	体験活動で自然に触れることが好きである	3.58	3.85	↑	0.27	3.88	4.07	↑	0.19
21	身の回りの整理整頓など、自己管理ができる	3.66	3.87	↑	0.21	3.64	3.90	↑	0.26
25	探求心を持ち、教師や友達にわかるまで教えてもらう	3.39	3.67	↑	0.27	3.41	3.64	↑	0.23

生徒の意識の変容【那須甲子利用／R元・R4】

R元:25校 3,049名(集計2,838名)

R4:25校 3,110名(集計2,998名)

No.	項目	R元事前	R元事後	比較		R4事前	R4事後	比較	
1	進んであいさつをすることができる	4.16	4.41	↑	0.25	4.02	4.33	↑	0.31
3	自分の考えや思いを相手に伝えることができる	3.85	4.09	↑	0.23	3.76	4.00	↑	0.24
5	新しいことに積極的に取り組んだり、失敗を恐れず挑戦したりすることができる	3.66	3.96	↑	0.30	3.47	3.79	↑	0.31
9	働くことの喜びを知り、楽しさを感じている	3.42	3.66	↑	0.23	3.46	3.70	↑	0.23
10	人が嫌がる仕事などを行うことができる	3.38	3.59	↑	0.21	3.33	3.50	↑	0.17
11	やる気になれば、できないことはないと思う	3.70	3.77	↑	0.07	3.71	3.82	↑	0.11
16	友達の良さを発見することで人間関係が広められる	4.00	4.17	↑	0.18	3.93	4.23	↑	0.31
18	体験活動で自然に触れることが好きである	3.97	4.18	↑	0.21	3.83	4.14	↑	0.31
21	身の回りの整理整頓など、自己管理ができる	3.72	3.91	↑	0.19	3.71	3.90	↑	0.18
25	探求心を持ち、教師や友達にわかるまで教えてもらう	3.58	3.75	↑	0.17	3.51	3.70	↑	0.19

自然教室事業について

【学年主任アンケート①】

★学年主任への事後アンケート結果【R元・4年度：赤城・那須甲子】 ◎は複数回答あり

◎設備がきれいで清潔感があり整っているので、特に不便さを感じなかった。敷地が広く、施設内で充実した活動をする事ができた。

◎バイキング方式の食事には生徒に好評であった。野菜も多く、ドレッシングの種類も複数あり、調理法にも工夫があったと感じた。

○地蔵岳登山は講師の方の先導で、安全面にも配慮いただいて活動できた。

○体験学習は選択肢が豊富でとても良かった。

○絵付けだるまは事前にワークシートを作成して活動に当たったため、生徒も楽しんで取り組むことができた。

◎講師をつけると費用がかさむが、それ相応のメリットがある。やはり専門的知識がある指導員がいた方が内容が充実している。

○連絡調整や打合せに時間がかかったが、今後千葉市の利用が増えることで短縮できる部分も出てくると思う。

自然教室事業について

【学年主任アンケート②】

★学年主任への事後アンケート結果【R元・4年度：赤城・那須甲子】 ▲は複数回答あり

▲食事や部屋割り、風呂の時間の決定が実施直前に決定した。当初の予定とは異なったため細案を組みなおすのが大変だった。

- ・施設内が非常に寒い。部屋には暖房があるが、生徒の宿泊部屋に関しては決められた時間でしか暖房がつかないので、防寒対策が必須である。
- ・職員の入浴が22時で終わってしまう。生徒の対応があるため、少し延長してもらいたい。

▲野外炊飯の材料が『4人分』・『8人分』という区分で奇数に対応しておらず、奇数の班で食材や調味料等を分けるのに苦労していた。また会計面でも不便だった。

▲夜間診療を行っている病院が少なく、生徒が体調不良となった際、対応に苦慮した。

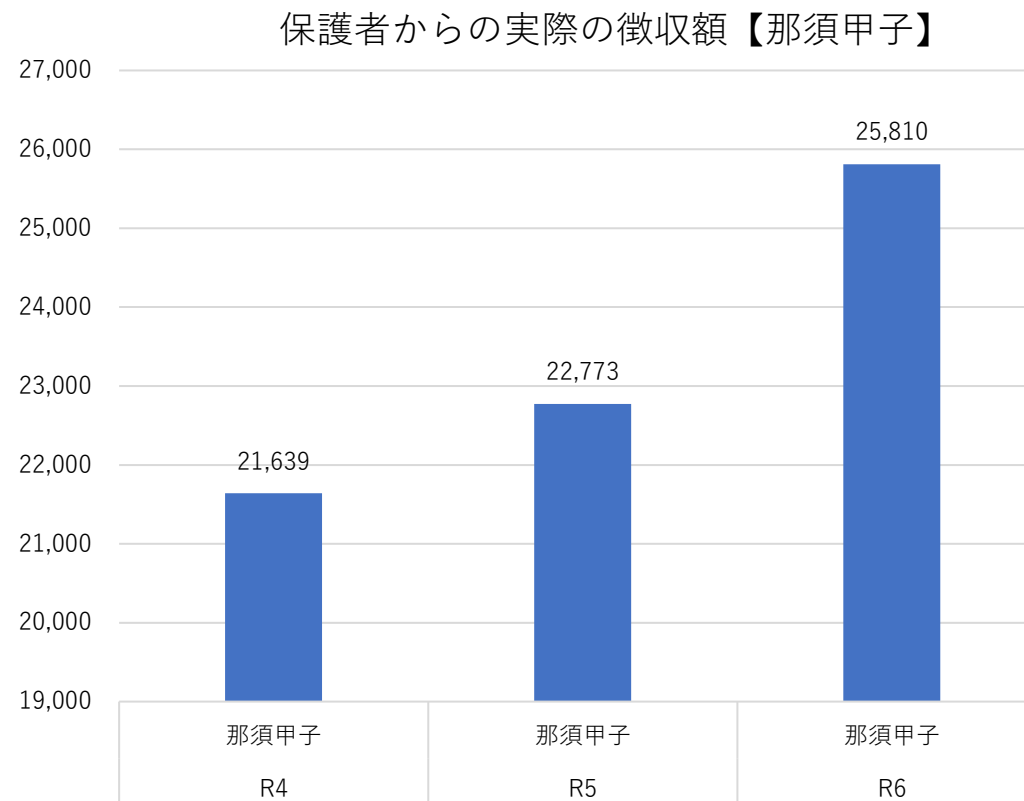
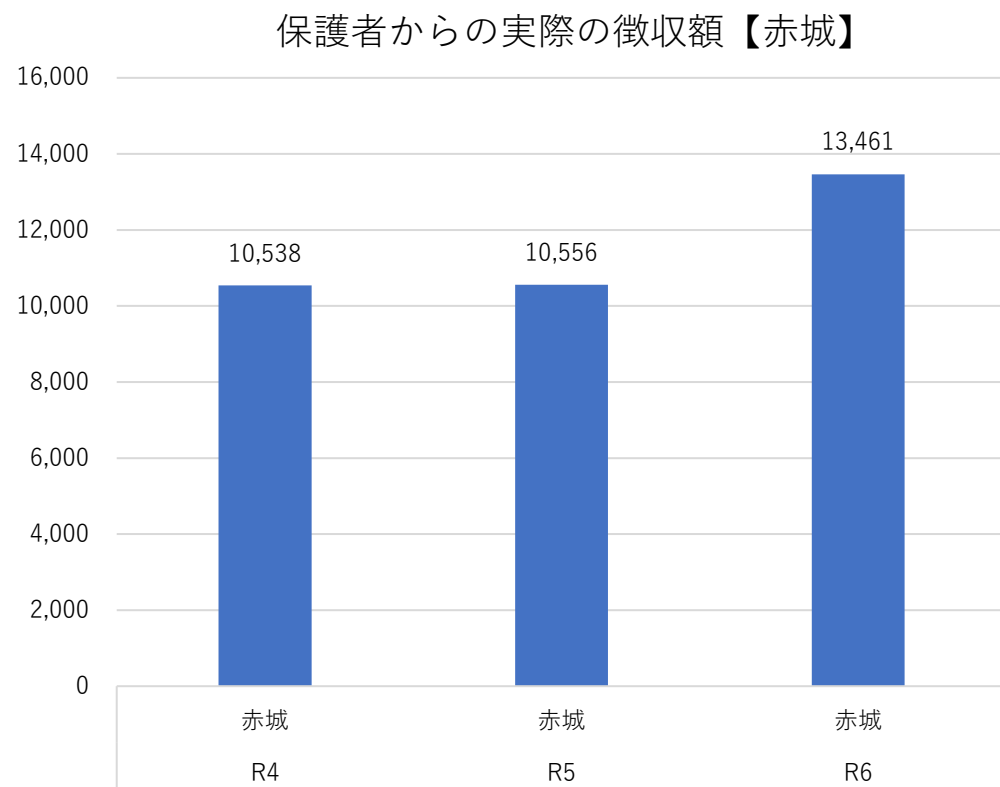
- ・赤城で登山を行ったが、コース上に携帯電話の電波が届かない場所があった。交流の家推奨のプログラムであることから、トランシーバー等の貸し出しをお願いしたい。

※コロナ禍での対応は施設のガイドラインに則って対応はしたが、部屋の変更や収容人数の制限により調整が難しかった。(発熱者が出た部屋は3日間使用中止等)

※アンケートをもとに各施設と市教委担当者で各項目について確認・相談を行っている。

R4～6の保護者からの徴収額(平均)

【校長会アンケートより】



※R6については予算の学校含

※那須甲子の利用校については、福島県の復興事業によりバス代の補助を申請している学校が多い

年度	【赤城】	【那須甲子】
元年度 340台	<u>100.0 %</u> (203台) [基準価格]	<u>100.0%</u> (137台) [基準価格]
2年度 (中止) 366台	102.3 % (232台)	99.8 % (134台)
3年度 (中止) 376台	102.4 % (232台)	96.9 % (144台)
4年度 364台	100.9 % (213台)	101.9 % (151台)
5年度 349台	117.6 % (164台)	116.5 % (185台)
6年度 338台	170.0 % (141台)	159.2 % (197台)

令和元年度のバス単価を基準

令和元年度から令和6年度までに、
バス単価は

赤城:約1.7倍

那須甲子:約1.6倍 となっている。

特に、5年度、6年度に顕著に価格が高騰している。

★千葉市では学校～現地(赤城・那須甲子)までの往復バス代は、千葉市が負担している。
【送った学校のバスで帰りの学校を乗車】

赤城・那須甲子の体験プログラム参加状況【校長会アンケートより】

赤城	R4	R5	R6
赤城山登山	15	5	9
野外炊飯	16	16	10
ウォークラリー	4	8	2
オリエンテーリング	1		1
アドベンチャーラリー	2	3	2
グリーンアドベンチャー	1		
ナイトウォーク	2	1	1
あかぎアドベンチャープログラム	1	4	1
館内アドベンチャーラリー			1
館内フォトラリー	1	1	2
陶芸	1	2	2
竹とんぼ	2	1	1
かなな箸	3	3	1
焼き板		1	1
勾玉		2	1
スプーンづくり	2	2	
切り絵	2		
七宝焼	2		
てん刻	1		
ネイチャークラフト	1	1	

那須甲子	R4	R5	R6
白川だるまの絵付け	9	11	15
スノーシューハイク	1		
雪遊び		2	1
星空観察	1		1

※キャンプファイヤー・キャンドルファイヤーは含まない。

体験プログラムについて

【校長会アンケートより】

【赤城】

◎野外炊飯もウォークラリーなども生徒が楽しく参加できて有意義と感じる。

▲登山を計画するとバス代金がかかるため、その他の活動でできるだけ予算のかからないものにするようになる。

- ・野外炊飯の時間が決まっているので(11月以降夜間禁止)登山を計画すると初日しかできなくなってしまう。
- ・アドベンチャーラリーやアドベンチャープログラムの内容がいいので、毎年取り入れている。
- ・12月以降は実施できる体験数が減ってしまうため、選択の幅がかなり狭まる。
- ・天候に左右される活動があるので、雨天時のプログラムの充実をお願いしたい。
- ・登山の中で携帯電話の電波が届かない場所があったので、カバーできるトランシーバー等の準備をお願いしたい。

▲野外炊飯の材料が『4人分』・『8人分』という区分で奇数に対応していなく、毎回苦労している。

【那須甲子】

◎那須甲子でスキー実習を選択するとほぼ1.5日使ってしまうので、日程上体験プログラムの計画が難しい。

3日目で短時間で安価な体験学習の充実を！【最終日に白川だるまの絵付けを行う学校が多い・お土産になる】

- ・生徒が現地でないとできない体験内容が用意されるとうれしい。

▲赤城に比べて体験プログラムが少ない。

自然教室の現状について

【校長会アンケートより】

- ・スキー実習の体験を重視しているので、3年の修学旅行費をバス移動にしてその分を自然教室に回すようにする。
- ・スキー実習をしていたが、修学旅行費の高騰のため**赤城に変更**し、その分を修学旅行費に充てるようにした。
- ◎今年度から食事料金も値上がりし、全体の値上がりが顕著である。体験学習自体は素晴らしいものであるので、保護者の負担が増えないように行政の補助の充実が必要である。
- ◎今後マイナンバーカードの健康保険証利用が増えると思う。PDFでも対応可能なはずだが、実物でないと対応しない病院もあると聞いている。国立施設周辺の病院について調査・情報提供をお願いしたい。
- ・スキー実習の場合、特別支援学級の生徒が活動できない場合があったので、支援体制を是非とも希望する。
【スキー場での問題でもあるが、**施設でもバリアフリーが不完全な場所もある**】
- ・現地バス代が一人当たり5,000円になる学校もあり、福島県の補助がなければバス利用が難しくなる。今後は那須甲子から赤城への変更が増えるのではないかな。
- ◎部屋割りや入浴時間等の連絡が2週間前にならないと確定してくれない。2週間前はもう保護者にしおり等を配付して最終確認する時期であるので、せめて3週間前には必ず確定してもらいたい。

白井中の体験学習について

地域や保護者が協力的であり、多少の費用が上がっても必要な学習や校外での活動は必要であると考えてくれている。

↓	R4	R5	R6
2年生自然教室費用	21,000円	26,500円	25,000円
3年生修学旅行費用	60,000円	65,000円	74,000円

【2年生】

- ・令和5年度に25,000円を超えてしまったので今年度は体験学習を無くして費用軽減を行う。

【3年生】

- ・令和6年度の修学旅行より入札業者0件。前年度の旅行業者に直接お願いしたが費用が高騰。
- ・この費用以外に、お土産代＋班別活動費として別途10,000円のお小遣いが保護者負担。

まとめ

- 体験学習の意義は高く、特に宿泊を伴う場合においては生徒同士の絆や教師と生徒のつながりが一層強くなり、学習後の学校生活にプラスの影響を与えている。
- 生徒の事前・事後アンケートの変容を見ても、『自己規制』『明朗性』『社会性』の項目で比較的高い成果を示している。また調査項目25項目すべてで上昇がみられた。
- 国立の施設は千葉市の施設に比べても、設備がきれいで清潔感があり整っているので初めてでも使いやすいという声が多かった。またプログラムの内容も充実している。
- ▼バス代や施設利用の高騰は、2年生の自然教室だけでなく3年生の修学旅行や小学校の体験学習でも顕著に表れている。もちろん『利用者負担』の原則は必要だが、児童・生徒のとても有意義な活動と認識いただき、国や行政の補助金を使っのより良い運営に期待する。
- ▼働き方改革の観点から、部屋割り等の確定を3週間前にはお願いしたい。生徒や保護者に渡す『しおり』は2週間前に渡したいと考えており、ぎりぎりの連絡では教師側の負担は大きい。
- ▼特別な配慮を要する生徒(特別支援・アレルギー等)に対するより一層の配慮をお願いしたい。